

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅、池永
日 時	平成23年10月4日(火曜日)		開 議 午後 4 時 30 分
			閉 議 午後 5 時 50 分
出席委員	◎木曾 ○苗村 山本 井上 福井 菱田 西村 明田		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 一名	

会 議 の 概 要

1 開 議

[木曾委員長 あいさつ]

議会だよりの印刷業務委託先である内藤印刷株式会社の堀氏に同席いただいた。
編集上、堀氏の意見を聞く場合は、委員会協議会に切り替える。

2 議 事

[事務局説明]

(1) 議会だより No.150 (9月定例会号) の掲載事項について

(ア) 文章の確認

(イ) レイアウト表の確認

(ウ) 写真の確認 (まだのものは次回までに)

<苗村副委員長>

レイアウト表の番号に沿って順に確認していく。

[写真A (トップ写真)]

<苗村副委員長>

亀岡祭のくじ取り式について、事務局で撮影したものを掲載する。

<了>

[文章① (見出し)、文章② (目次)]

<木曾委員長>

見出しのボリュームがあるので、目次部分を削るか検討を。

<事務局>

前回の委員会では、目次について不要と必要と意見が分かれていた。

<木曾委員長>

委員会協議会に切り替えて印刷業務委託先の内藤印刷株式会社の堀氏の意見を聞く。

(委員会協議会)

<木曾委員長>

会議を再開する。

<苗村副委員長>

目次は必要なものとする。他にご意見は。

<了>

[文章③(概要)、④(本会議での主な討論:未)、写真B]

<木曾委員長>

委員会協議会に切り替えて堀氏の意見を聞く。
(委員会協議会)

<木曾委員長>

会議を再開する。③の文章については、読み手に内容が伝わるよう表現を一部変更する。その他の部分はこの案のままでよいか。

<了>

[文章⑤⑥(議決結果:未)]

[文章⑦(意見書)、⑧(人事関係):未]

<苗村副委員長>

原稿が未だの部分であり、このレイアウト案で調整し、次回確認することとする。

<菱田委員>

⑧人事関係については、レイアウトの制限上、畑野財産区管理委員会委員よりも人権擁護委員の氏名の掲載を。

<事務局>

レイアウトの工夫、調整により原稿案の内容を掲載できると思われるが、字が小さくなる。

<木曾委員長>

調整の結果、掲載しきれない場合は、畑野財産区管理委員会委員は、他〇名というように要約する。

<了>

[文章⑨⑩⑪(常任委員会の審査報告)]

<了>

[文章⑫(決算特別委員会の審査報告)、⑬(請願)、写真C]

<菱田委員>

「平成22年度決算を認定」という大きなタイトルが必要。

<西村委員>

大見出しをいれる場合の小見出しは。

<木曾委員長>

タイトルと掲載する内容からは、小見出しとしては必要ないのでは。

<木曾委員長>

レイアウトの配置を工夫したい。次回の委員会までの間に、正副委員長、事務局、堀氏とで調整を進めたいので一任願う。

<苗村副委員長>

写真Cについてはどうするか。

<木曾委員長>

写真C-2でどうか。

<了>

<明田委員>

決算内容であるので、歳入歳出の円グラフを掲載してはどうか。先日の研修でも、市民の関心が高いので、ぜひグラフを掲載するよう、アドバイスをうけたところである。

<木曾委員長>

スペース上、困難ではないか。

<事務局>

原稿案、写真の掲載などの見直しを願う。

<木曾委員長>

写真をカットしてでも円グラフを掲載する。文章ももっと要約してはどうか。

<福井委員>

決算審査の手法、経過に係る部分は、文章をカットしてもよいと考える。

<了>

[文章⑭⑮（一般質問）、写真D～I]

<井上委員>

写真の上に文字をたくさん並べるのは見にくい。要約してはどうか。

<菱田委員>

文責が議員にあるのと、要約原稿であることは必須。その他はホームページに掲載している旨の内容でよいのでは。

<木曾委員長>

最低限必要な情報のみを簡潔に掲載するように要約する。

<了>

<苗村副委員長>

会派の写真を決定したい。まだの部分は次回協議する。写真F（改革かめおか）はF-2でよいか。

<了>

<苗村副委員長>

写真I（傍聴の案内）についてはどのような写真にするか。

<事務局>

傍聴席の写真を用意するので、次回の委員会で協議願う。

<了>

<苗村副委員長>

文章については、各会派で確認願う。

<木曾委員長>

質問見出しは、全体的に「～について」を使わないように整理したい。各会派分を確認し、明日午前中までに事務局まで修正箇所の連絡を願う。

<了>

[文章⑯（12月定例会の日程）]

<木曾委員長>

日程の変更箇所は事務局で修正願う。

<了>

[文章⑰（議員団研修を実施）、写真K]

<苗村副委員長>

写真Kについては、4点から選択を。

（写真選定、K-2 多数）

<木曾委員長>

K-2で決定する。

<菱田委員>

このタイトルは、「議員団研修を実施」よりも「普通救命講習を実施」にしたほうがよいのでは。

<了>

[文章⑱(議会運営委員会の視察報告)、写真L]

<苗村副委員長>

このタイトルも何を視察してきたかという点で、「さらなる議会改革に向けて視察調査」とタイトルを変更してはどうか。また写真はLでよいか。

<了>

[文章⑲(視察受入状況)、⑳(議会日誌)]

<了>

[文章21(議会報告会のおしらせ)、写真M]

<苗村副委員長>

写真は3点から選択を。

(写真選定、M-2多数)

<木曾委員長>

M-2で決定する。

<了>

<井上委員>

かめまるのコメントが少し固い。「待っているよ、みんなきてね」という具合に柔らかくしてはどうか。

<西村委員>

全体的なイメージからここだけ柔らかくしても違和感がある。

<木曾委員長>

最終的に正副委員長で判断するので一任願う。

<了>

[文章22(本会議を傍聴して)、写真N]

<了>

[文章23(議員団研修を公開します)]

<井上委員>

誰に公開するのかわからない。「市民に公開します」としてはどうか。

<木曾委員長>

何のために公開するのか、開かれた議会をめざすため今回初めて公開するものであり、その観点から文章に修正を加える。正副委員長に一任願う。

<了>

[文章23(編集後記)、24 広報広聴特別委員会]

<菱田委員>

編集後記は原稿作成中である。次回確認願う。

<了>

<木曾委員長>

以上で全項目を確認したが全体を通してご意見は。

<西村委員>

今回の150号は、共産党が非常にかんばっているとの印象をうける。他の会派もそのような意識をもたなければならないが、反対討論もすれば掲載するというこゝでなしに、話し合いの中で一定の制限をかけるような検討も必要であり、会派にもちかえっての課題としたい。

<木曾委員長>

一定理解するが、反対討論は共産党しかしていないのが現実、討論は活発にしてい

<明田委員>

山鉾連合会からは会長、各会員からも写真掲載の承諾を得ている。

<事務局>

写真B、議決関連写真について協議願う。

<木曾委員長>

放射線簡易測定器がよいのでは。総務文教常任委員会の資料に測定器の写真があった。現物がなければ、それをつかってはどうか。

<事務局>

おそらく補正予算が可決されてから購入されるもの。資料、カタログの写真を使うことになろう。

<了>

<木曾委員長>

全体を通じて印刷業者の堀氏から意見、感想をうかがうため、委員会協議会に切り替える。

(委員会協議会)

<木曾委員長>

会議を再開する。この委員会の後、各会派で確認する部分についてよろしく願う。校正段階での整理については正副委員長に一任願う。14日の委員会で確認いただく。

3 その他

<木曾委員長>

今後、広報広聴に関する視察の受入れが予定されており、正副委員長で対応することもあるので、了解いただきたい。

<了>

散会 ～17:50